

# 第6回

佐渡地区

## みどりの1%推進運動リレーワークショップ 「みどりのチカラ」フリートークの報告

日時；平成19年7月27日 会場；佐和田アミューズメント佐渡 参加者；9名  
作成；(社)新潟県公園緑地建設業協会  
TEL025-282-4460 FAX025-282-4461  
E-mail niigataken@koryoku.or.jp

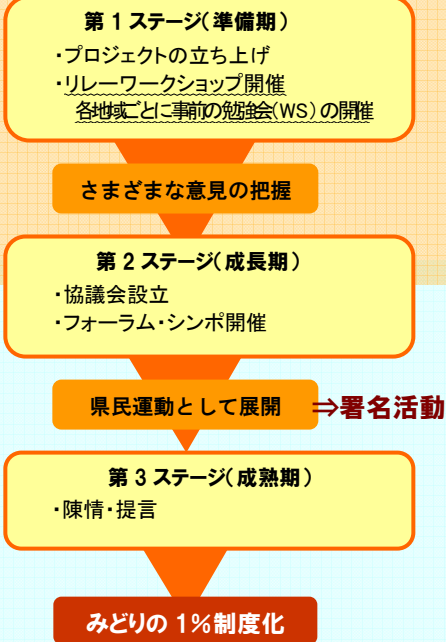
### 第6回プログラム

- 13:00 開会の挨拶 [第1部]
- 13:05 新潟県緑花推進計画「新たな5ヵ年計画」概要説明
- [第2部]
- 13:20 グループ討議
- 14:40 グループ発表
- 15:00 閉会の挨拶

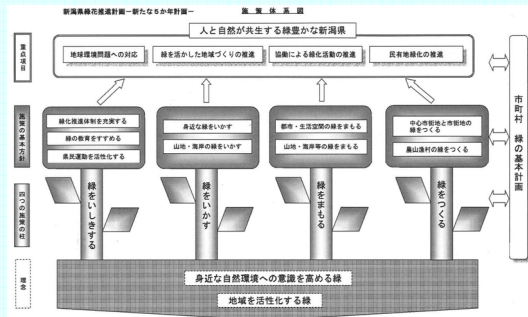
### 「みどりのチカラ」フリートークについて

- ★ フリートークは、「みどりの1%推進運動」を現実化させるための基礎情報として、県内のみどりに関する方々から「みどり」について日常感じている様々な意見を出していただき、「課題の共有化」と「目標の共有化」を図っていきます。
- ★ そしてこのフリートークの基礎情報が、今後県民運動として展開していく、ワークショップ開催へと導いていく重要な「地域への投げかけ」の第1歩となります。

### みどりの1%推進運動の流れ



### 第1部 新潟県緑花推進計画「新たな5ヵ年計画」の概要説明



▲新潟県緑花推進計画 —新たな5ヵ年計画—

▲説明の様子

### 第2部 「みどりのチカラ」フリートーク

参加者のみなさんと「地域のみどり」を中心に、自由討議を行いました。

1. 「みどりのチカラ」のおさらい。
2. 「みどりのチカラ」を考える。
3. 「みどりの1%推進運動に向けた取り組み」を考える。みどりの活用方法。地域への啓蒙・啓発など参加者のみなさんが様々なアイデアを出しあいました。

- ★ 佐渡地区では、竹に関する意見交換が活発に行われました。
- ★ 生活と観光の住み分けをどのように緑に活かすか？重要課題でした。



▲フリートークの様子

### みなさんから出された意見。

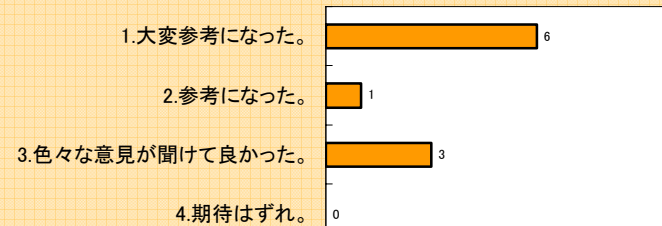
- ・ 佐渡らしさを感じる公園づくりを考えていく。それには、島内の植物を使用して景観づくりを行う(島内の既存の公園緑地リストをデータ化)。今後、管理、再整備の手法として行政に提案していきたい。
- ・ 佐渡の竹林の手入れ。⇒広く県民に周知していただくよう、啓発活動に取り組んでいきたい。
- ・ 相川のツブキ、カンゾウをもっと活かしたい。
- ・ 竹切ツアーやタケノコ狩りなどを通じて、竹ヤブの認識を図っていきたい。さらに、佐渡の食文化につなげていく。
- ・ 竹ヤブの景観の演出。竹をキーワードとしたことわざや格言、人名など。
- ・ 竹は樹木と違い、夜間の演出方法によっては神秘的、幻想的な世界へ誘う。佐渡観光の重要なみどりのキーワードではないだろうか？
- ・ 例えば、美竹林公園の整備！それは竹文化の交流拠点である。
- ・ 佐渡ブランドの竹をもっと上手に使う。
- ・ 伝統工芸、本間先生の作品は、ほとんどアメリカに行ってしまう。
- ・ 竹をサバイバルキャンプの道具に使う。明日を担う子供達に竹を通じたグリーンツーリズム、教育学習を！
- ・ 竹を地域の文化遺産として、地域の誇りとして継承、県内外に発信していくことは我々造園人の社会的使命であり責任でもある。
- ・ 竹を通じた地域コミュニティの結びつき強化、充実することで、地域における支え合いの仕組みづくりを促進し、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたい。
- ・ 佐渡の植物のDNAによる市場流通。
- ・ シーニックハイウェイ佐渡版を考える。
- ・ 観光客の目線で「みどり」を考えていくことが島民にとって本当に良いのか？生活と観光の住み分けをすべきであらう。

### 参考 「みどりのチカラ」グループ討議をふりかえって

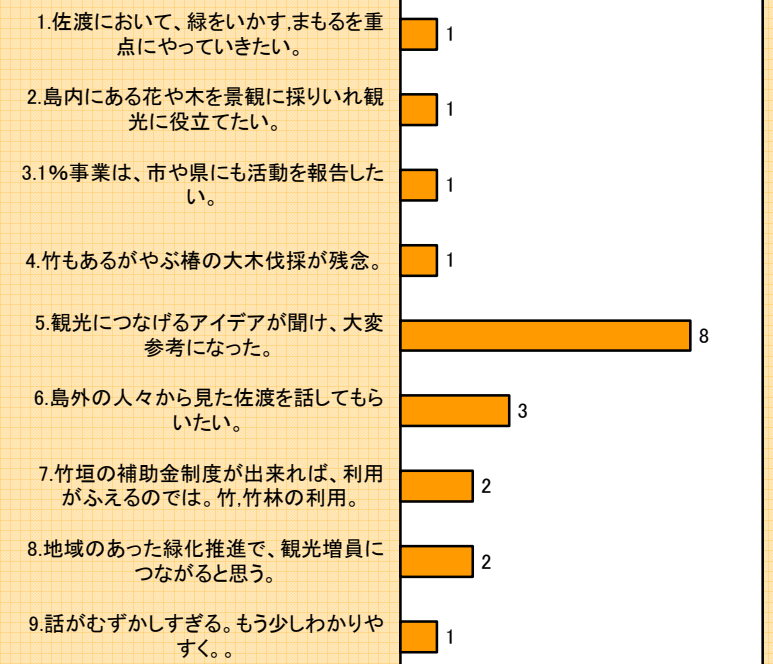
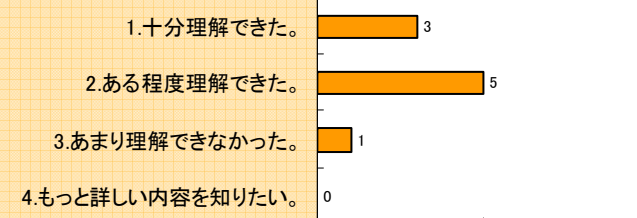
「みどりのチカラ」グループ討議終了時、「ふりかえりシート」を参加者のみなさんに記入して頂きました。主な意見は以下のとおりです。

Q3 みどりの1%推進運動WSに参加した感想。

Q1 今回のワークショップに参加してどのように感じましたか？



Q2 新潟県緑花推進計画「新たな5ヵ年計画」についての説明はいかがでしたか？



※複数回答及び無回答があったため参加者数と整合しない。